



地域の実情に即した幼小連携・接続の取組について

管内・市町村	空知管内 月形町
取組事項（テーマ）	認定こども園の保育教諭と小学校の教員の授業交流
地域の実情と取組のねらい	認定こども園の保育教諭と小学校の教員がお互いに保育・授業参観を行う機会を年間計画に位置付け、教員の交流と子どもの交流を通して、認定こども園と小学校の円滑な接続をねらいとする。
取組内容	<p>I 相互参観の実施（9月～10月）</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定こども園及び小学校の年間計画にお互いの教育活動を参観する日を位置付ける。 小学校の教員は、「幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿」を参考に保育参観を行い、保育教諭の支援や環境構成の意図を理解するとともに、園児の活動の様子を観察する。 認定こども園の保育教諭は、小学校低学年の授業を参観し、卒園児の成長の様子を観察する。 授業参観後は、認定こども園の保育教諭と小学校の教員が子どもの様子や指導方法について情報交流を行うなど、幼小連携の取組を進める。 <p>II 園児による小学校の授業体験（9月から10月）</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定こども園の園児が小学校第1学年生活科「おもちゃをつくってあそぼう」の授業に参加し、小学生との交流や、小学校教員との関わりを通して、園児が小学校入学への期待を高めている。 <p>III 保育要録等の引継ぎ（3月末）</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定こども園と小学校の間で、授業参観での園児の様子を基に、保育要録等を活用して引継ぎを行う。  <p>【生活科の授業に参加する園児の様子】</p>
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> お互いの教育活動を参観する日を年間計画に位置付けることで、計画的に子どもの様子の交流を行うことができる。 保育や授業の参観を通して、幼児教育と小学校教育の理解が深まるとともに、日常的な情報交流につなげることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育や授業の参観に、より多くの教員が参加できるよう、園・校内体制を整備し、より一層、幼小の連携・接続を推進する必要がある。

地域の実情に即した幼小連携・接続の取組について

管内・市町村	空知管内 美唄市
取組事項（テーマ）	市内の幼児教育施設と小学校の特別な教育的支援の必要な幼児に関する合同引継ぎ会
地域の実情と取組のねらい	市内の複数幼児教育施設から複数小学校に入学するため、幼稚園、小学校及び関係福祉施設における特別支援教育の充実に向けた協議及び「個別の教育支援計画スタートシート」等を活用した特別な教育的支援が必要な幼児の円滑な引継ぎを行うことをねらいとする。
取組内容	<p>I 特別支援教育連携協議会「推進会議」の実施（1月中旬） （内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園、小学校、中学校の特別支援コーディネーター、幼児教育施設の園長、職員、関係機関職員が参加し、入学や進学する際に特別な教育的支援が必要な幼児の情報について「個別の教育支援計画スタートシート」を活用して引継ぎを行う。 <p>（形態）</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校ごとにブースを設置し、幼児教育施設職員が各学校のブースを回る。 引継ぎ時間は幼児1人10分に設定している。  <p style="text-align: center;">【推進会議の様子】</p> <p>II 校内体制検討会議の実施（1月中旬から2月）</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学校で引き継ぐ「個別の教育支援計画スタートシート」の情報を基に校内体制を検討し、特別支援教育支援員の配置等について検討を行う。 <p>III 保育要録等の引継ぎ（3月末）</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学校において、幼児教育施設と保育要録等の引継ぎを行う。
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別な教育的支援が必要な幼児の支援の状況等の情報を担当者間で直接引き継ぐことで、具体的な関わり方など、きめ細かな支援につなげることができる。 共通の様式を活用することで、効果的に引継ぎを行うことができる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各校で作成する「個別の教育支援計画スタートシート」により引き継ぐ情報とその後の支援の在り方について継続的に評価し、充実を図る場の設定等が必要である。

地域の実情に即した幼小連携・接続の取組について

管内・市町村	空知管内 浦臼町																																																					
取組事項（テーマ）	認定こども園の意見を取り入れたスタートカリキュラムの充実に向けて																																																					
地域の実情と取組のねらい	<p>「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ、認定こども園からの意見を取り入れたスタートカリキュラムを作成することで、認定こども園での遊びを通した総合的な学びから、小学校での自覚的な学びへと円滑に移行することをねらいとする。</p>																																																					
取組内容	<p>I 全教職員と保護者による共通理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 就学前の幼児をもつ保護者を対象に、小学校入学へ向けて、生活の違いや食事の時間の違い等に対する不安に係るアンケートを実施し、1月の1日入学の際に、小学校の対応について伝えたり、スタートカリキュラムの説明を行ったりすることで保護者に安心感をもってもらう。 全教職員で、スタートカリキュラムの意義や幼小連携について共通理解を図る。 <p>II 相互保育・授業参観</p> <ul style="list-style-type: none"> 9月に相互の保育・授業参観を行い、参観後、幼児、児童の実態交流や、教職員の情報共有を行うとともに、小学校が原案を作成したスタートカリキュラムの説明を行う。 3学期に教務主任、特別支援コーディネーターが認定こども園の保育を参観し、参観後、認定こども園担当者と引継ぎへ向けた情報共有を行う。 <p>III スタートカリキュラムの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児期の遊びを通じて育まれたことが各教科等における学習に円滑に接続されるよう、生活科を中心とした合科的・関連的な指導や、1コマを短い時間に区切った時間割の設定等の工夫を行っている。 <div data-bbox="938 1317 1444 1601" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">スタートカリキュラム「わくわく ときどき しょうがっこう」（全30時間）</p> <p>【ねらい】 ○新しい先生や友達、上級生などとの関わりを深めながら、学習環境に慣れ親しみ小学校生活への期待をふくらませる。 ○約束事を覚え、楽しく安全に生活できるようにする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>活動名</th> <th>教科</th> <th>時数</th> <th>関連</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月第1週 0時間</td> <td>1 わくわく ときどき 小学校</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4月第2週 12時間</td> <td>【友達いっぱい大作戦】</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4月第3週 11時間</td> <td>第1時：みんなの名前を覚えよう</td> <td>生活</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4月第4週 6時間</td> <td>第2時：学校のすこし方</td> <td>特別活動</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">4月第5週 11時間</td> <td>第3時：学校はどこかな</td> <td>生活</td> <td>1</td> <td>道徳</td> </tr> <tr> <td>第4時：安全な登下校</td> <td>特別活動</td> <td>1</td> <td>道徳・生活</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【配当時数】</td> <td>第5時：いっしょに体育館で遊ぶ</td> <td>体育</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第6時：明るく、元気にあいさつしよう</td> <td>道徳</td> <td>1</td> <td>生活・国語</td> </tr> <tr> <td>国語 2時間</td> <td>第7時：絵巻を通して書べよう</td> <td>特別活動</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生活 11時間</td> <td>第8時：1年生の1日を話し合おう</td> <td>生活</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: center;">【スタートカリキュラム】</p>		活動名	教科	時数	関連	4月第1週 0時間	1 わくわく ときどき 小学校				4月第2週 12時間	【友達いっぱい大作戦】				4月第3週 11時間	第1時：みんなの名前を覚えよう	生活	1		4月第4週 6時間	第2時：学校のすこし方	特別活動	1		4月第5週 11時間	第3時：学校はどこかな	生活	1	道徳	第4時：安全な登下校	特別活動	1	道徳・生活	【配当時数】	第5時：いっしょに体育館で遊ぶ	体育	1		第6時：明るく、元気にあいさつしよう	道徳	1	生活・国語	国語 2時間	第7時：絵巻を通して書べよう	特別活動	1		生活 11時間	第8時：1年生の1日を話し合おう	生活	1	
	活動名	教科	時数	関連																																																		
4月第1週 0時間	1 わくわく ときどき 小学校																																																					
4月第2週 12時間	【友達いっぱい大作戦】																																																					
4月第3週 11時間	第1時：みんなの名前を覚えよう	生活	1																																																			
4月第4週 6時間	第2時：学校のすこし方	特別活動	1																																																			
4月第5週 11時間	第3時：学校はどこかな	生活	1	道徳																																																		
	第4時：安全な登下校	特別活動	1	道徳・生活																																																		
【配当時数】	第5時：いっしょに体育館で遊ぶ	体育	1																																																			
	第6時：明るく、元気にあいさつしよう	道徳	1	生活・国語																																																		
国語 2時間	第7時：絵巻を通して書べよう	特別活動	1																																																			
生活 11時間	第8時：1年生の1日を話し合おう	生活	1																																																			
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 相互参観を通して、幼児教育と小学校教育の理解が深まるとともに認定こども園の教員の意見を取り入れたスタートカリキュラムの作成ができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 入学後のフォローアップやスタートカリキュラムの検証改善サイクルについて、年間計画に位置付ける必要がある。 																																																					

地域の実情に即した幼小連携・接続の取組について

管内・市町村	石狩管内 北広島市
取組事項（テーマ）	北広島市アクションプランに基づく、幼児教育連携
地域の実情と取組のねらい	市が示した「幼児教育連携アクションプラン」に基づき、幼・保・小・中による研修や校種間交流、連携の教育課程構築などの取組を推進し、幼児期の教育から小学校（中学校）教育への円滑な接続や教職員の共通理解に基づく連携強化を目指す。
取組内容	<p>【施策検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年、年3回程度、「市幼児教育の連携に関する懇話会」を開催し、「スタートカリキュラム、アプローチカリキュラムを意識した連携強化」や「保護者の不安解消を目指した支援の方策検討」、「各種取組の交流と検討」に関する協議を通して、各関係者が本市における幼児教育推進の進捗状況や取組の方向性について共通理解を深めている。 <p>【幼保小（中）研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士、幼稚園教諭による小学校の授業参観や、小学校教員による保育所、幼稚園の保育・教育参観を通して、発達の段階に応じた保育・教育の内容や方法について、相互理解を深めている。 ・保育所、幼稚園、認定こども園、小学校の教職員を対象に、「幼保小の連携に関する懇談会」を実施し、市の幼児教育に係る現状と課題、今後の取組の方向性について共通理解を図っている。 ・市教育委員会と市教育研究会の共催で、保育所、幼稚園、認定こども園及び小・中学校の教職員、学童クラブ支援員を対象に「幼保小連携に関する研修会」を実施し、幼児教育と小学校教育との接続について理解を深めている。 <p>【校種間交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市教育委員会の主催で、市内全ての保育所、幼稚園、認定こども園、小学校の教職員、学童クラブ支援員、子ども発達支援センターの職員を対象として、「幼保小の連携に関する交流会」を年2回実施しており、6月は、小学校入学後の児童の様子についての交流、1月は、小学校入学前の幼児の様子について交流するなど、校種間等の接続強化の取組を進めている。 <p>【保護者間交流・研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年長児の保護者懇談会に小学校教員が出向いて、小学校生活の様子等について説明するなど、保護者の不安を解消する体制をつくり、連携を密にしている。 <p>【連携の教育課程の構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の各保育所、幼稚園及び認定こども園においてアプローチカリキュラムを、各小学校においてスタートカリキュラムを整備するとともに、各小学校区内で内容を交流するなど、幼保小連携の強化に向けて、教育課程の接続を意識した取組を進めている。
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校種間での授業参観や保育・教育参観、「幼保小の連携に関する懇話会・懇談会・研修会」を実施することにより、相互の取組の成果や課題を把握するとともに、それぞれが抱える悩みや苦勞を共有するなど、関係機関が連携を図りながら、「市全体で子どもを育てる」という教職員の協働意識を高めることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「北海道幼児教育振興基本方針」の目標指標に基づき、幼児教育施設の意見を踏まえたスタートカリキュラムを編成するため、交流の機会の質的向上を図るとともに、標準的なスタートカリキュラム作成の検討を行う必要がある。

地域の実情に即した幼小連携・接続の取組について

管内・市町村	石狩管内 当別町
取組事項（テーマ）	当別町幼保小接続プログラムの活用による円滑な接続
地域の実情と取組のねらい	町内の2つの小学校区ごとに認定こども園が設置されており、一貫性のある教育・保育を実施しやすい環境にあることから、認定こども園及び小学校の共通理解の下、本プログラムに基づいた取組を行い、幼児教育と小学校教育のより一層の円滑な接続を目指す。
取組内容	<p>【策定までの流れ】 令和元年度に、当別町幼保小接続プログラム検討会議を実施し、接続プログラムの内容を検討、策定</p> <p>【構成員】 認定こども園（園長、主幹教諭）、小学校（教頭、教務主任）、教育委員会（学校教育課及び子ども未来課職員）</p> <p>【内容】※一部抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続期における教育・保育の重要性 ・当別町の幼児教育・保育環境 ・幼児期の教育・保育と小学校教育の違い ・幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿 ・幼児教育と小学校教育の円滑な接続イメージ等 <p>【活用方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園：指導計画を作成する際、幼児期の生活や活動が小学校の生活や学習につながっていくかを見通すための指標として活用 ・小学校：入学時期の指導計画を作成する際、認定こども園での活動や教育内容を小学校での生活や学習の土台として学びの連続性を確保し、どのように伸ばしていくかを検討する資料として活用 ・認定こども園及び小学校：相互の教育・保育内容や子どもの学び方の理解、卒園時期や入学時期の指導計画の工夫や共同作成など、連携や情報交換をする際の資料として活用 <p>【内容の更新】 本プログラムについては、策定後も実効性や更なる充実に向け、PDCAサイクルに基づき、検討・更新を行う。</p>
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園において、本プログラムを活用して研修を行い、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」について理解を深めるとともに、小学校教育に円滑に接続するための教育・保育方法について、園内で共通理解を図ることができた。 ・小学校において、本プログラムに基づき、スタートカリキュラムの内容の改善を図るとともに、幼児期の教育・保育を意識した指導を行うなど、幼小連携の重要性について、学校内で共通理解を図ることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園及び小学校の教員が、幼児児童の様子について定期的に意見交流する機会を設定するとともに、卒園時期及び入学時期の指導計画の工夫や協働した取組について、より一層連携を強化する必要がある。

地域の実情に即した幼小連携・接続の取組について

管内・市町村	石狩管内 石狩市
取組事項（テーマ）	スタートカリキュラムの作成による幼小連携の促進
地域の実情と取組のねらい	今年度開校した義務教育学校において、地域の保育園と連携を図りながらスタートカリキュラムを作成することにより、入学した児童がスムーズに学校生活に適應するとともに、学校生活に対する意欲と安心感をもたせ、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を目指す。
取組内容	<p>【作成の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 義務教育学校の教職員が中心となり、地域の保育園の職員を対象にアンケート調査を行い、「幼児期の終わりまでに育ててほしい10」の姿に基づき、「保育園の子どもの好きなものや興味・関心をもっているもの」、「年長児クラスの下半期で取り組んできたこと」などを把握し、スタートカリキュラムの内容に反映している。 <p>【内容】※一部抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚田学園スタートカリキュラムのねらいと具体 安心して学校生活を送ることができるようにする 意欲的に取り組むことができるようにする 学校や生活の基盤となる学級集団をつくる スタートカリキュラム週案 <p>【カリキュラムの工夫の具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活科の学習活動を中核として、国語科、音楽科、図画工作科などの内容を合科的に扱い、大きな単元を構成することで、活動時間を十分に確保することができるようにしている。 入学当初は、保育園での学びの形態を踏まえ、15～20分間程度のモジュールで時間割を構成するなど、児童が集中して活動することができるようにしている。 <p>【内容の改善・充実に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本スタートカリキュラムは、厚田保育園と連携してアンケートを行い、児童の発達や学びの状況に関する情報や支援方法を共有したり、年長児が興味・関心を示す遊びや歌を取り入れたりするなど、幼児期の教育の成果を生かすことができるよう年度ごとに改善を図っている。
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 義務教育学校において、本スタートカリキュラムに基づいて、新入学児に対する指導を行うことにより、児童はスムーズに学校生活に適應するとともに、学校生活に対する意欲と安心感をもたせることができた。 保育園において、スタートカリキュラム作成に係るアンケートを通して、年長者に対する保育内容や年長児の様子を伝えることができ、保育園と義務教育学校の連携を図ることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育園及び義務教育学校の教員が、幼児・児童の様子について定期的に意見交流する機会を設定したり、スタートカリキュラムと実際の新入学児の様子に基づき、よりよい保育・指導方法に関する教員研修を行ったりするなど、より一層連携を強化する必要がある。

地域の実情に即した幼小連携・接続の取組について

管内・市町村	後志管内 共和町
取組事項（テーマ）	幼児センターと小学校の交流
地域の実情と取組のねらい	<p>少子化や育児サービスの多様化が進む中、全ての子どもに望ましい保育の機会の充実と幼児期の教育課程を提供することを目的に、共和町では、幼稚園と保育所の長所を生かし、その機能を一元化した「幼児センター」を町内の2箇所に設置している。</p> <p>そのうち、はまなす幼児センターは、北辰小学校に入学するほぼ全ての児童が通園していることから、はまなす幼児センターと北辰小学校で、「幼児期が終わるまでに育てたい姿」を共有して教育内容の充実を図っている。</p>
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 共和町では、「幼小連絡会」や「幼小連携会議」を開催し、幼稚園と小学校の相互の情報交換を行い、教育内容の連携を図っている。幼小連携会議では、年3回の合同研修会を実施している。また、年4回の授業参観交流等を実施し、幼小間の情報共有を図っている。 具体的な取組として、5月の「幼小連絡会」では、小学校へ入学後1か月の児童の様子についての交流、12月の「幼小連携会議」では、幼児センターと小学校の教員の相互理解を図ることを目的とした授業参観交流や、5歳児を対象とした小学校での国語科、算数科の授業体験に係る実施計画を作成している。また、2月には、「新一年一日入学」が実施されることから、5歳児の状況を踏まえた一日入学の授業内容や、その際に行うソーシャルスキルトレーニングに係る打合せ等を行っている。 <div data-bbox="970 1093 1422 1429" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">【北辰小学校における体験学習】</p>
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的に「幼小連絡会」や合同研修、授業参観交流、特別支援教育連携協議会等を実施することで、「困り感」のある子どもの実態を把握できる体制が充実した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活や経験を重視した経験カリキュラムによる「遊び」を通して、「方向付け、発達の促し」を重視している幼児センターと、教科カリキュラムによる学習が中心で、「目標へのゴール」を重視している小学校のスタンスの違いについて、教員が互いに十分に認識し、今後の取り組みを発展させていく必要がある。

地域の実情に即した幼小連携・接続の取組について

管内・市町村	後志管内 二セコ町
取組事項（テーマ）	幼児センターから高校まで連続性のある一貫教育
地域の実情と取組のねらい	<p>二セコ町は、ウィンタースポーツを中心とした観光業が盛んで、人口が増加傾向であり、二セコ町幼児センターでも園児数が年々増えている。また、国際化も進み、国内外の様々な地域からの入園者も多くなっている。二セコ町教育委員会では、幼児センターから高校まで連続性のある一貫した教育を進めており、幼児センターでは、小学校との円滑な接続に向けて、園児と児童の交流や小学校の教職員による保育参観・引継ぎなどを行っている。</p>
取組内容	<p>＜二セコ小学校における地域参観日への参加＞</p> <p>小学校における地域参観日の中で、第1学年児童が運営しているフェスティバルコーナーに5歳児が参加することにより、小学校生活に向けて興味・関心を高めている。</p> <p>＜「英語で遊ぼう」カリキュラムの実践＞</p> <p>幼児センターにおいて、小学校外国語活動の準備段階として、身体を動かしながらリズムや音楽に合わせて遊びやゲームを行うなど、外国語に慣れ親しむ活動を、3歳児から週1回実施している。</p> <p>＜小学校の教職員による保育参観＞</p> <p>幼小の円滑な接続に向けて、幼児センターにおける保育や給食の様子などを小学校の教職員が年3回参観し、園児の状況を把握している。</p> <p>＜小学校への引継ぎ＞</p> <p>園児一人一人の生活の様子や配慮を必要と【小学校の教職員が給食の様子を見学】する事項について、指導要録を確認しながら説明している。特別な支援を必要とする園児については、特別支援教育コーディネーターも同席するなど、個別の配慮事項及び学級編成に関する助言を含めて引継ぎを進めている。</p> 
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育参観・引継ぎの充実を図ったことにより、幼児センターと小学校の教職員同士の交流が活発になり、日頃から質問や意見交換などがしやすくなった。さらに、幼児センターの保育において、5歳児に対して小学校の給食の時間を意識したペース配分をするなど、小学校への接続を見据えた取組が生まれるといった成果が出ている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、連携を強く続けていくため、日常的な活動の充実を図る必要がある。

地域の実情に即した幼小連携・接続の取組について

管内・市町村	後志管内 共和町																								
取組事項（テーマ）	幼児センターと小学校が連携したスタートカリキュラムの作成																								
地域の実情と取組のねらい	はまなす幼児センターは、北辰小学校に入学するほぼ全ての児童が通園していることから、はまなす幼児センターと北辰小学校で、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有して教育内容の充実を図っている。																								
取組内容	<p>共和町では、「幼小連絡会」や「幼小連携会議」を開催し、幼稚園と小学校の相互の情報交換を行い、教育内容の連携を図っている。幼小連携会議では、年3回の合同研修会を実施している。また、年4回の授業参観交流等を実施し、幼小間の情報共有を図っている。</p> <p>はまなす幼児センターと北辰小学校では、双方の管理職や教務主任等を中心として幼小合同で、接続期のカリキュラムを作成している。</p> <p>幼小合同で作成した「幼小連携 接続期プログラム」に基づき、幼児と児童の発達の姿や指導の様子の確認ため、6月には今年度スタートカリキュラムの検証等について、3月には次年度小学校に入学する5歳児に実施したアプローチプログラムの検証や交流、また、5歳児が体験する次年度の小学校でのスタートカリキュラムの内容について交流を行っている。</p>																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容/月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主な行事</td> <td> 北辰小学校 始業式 入学式 各種身体測定 1年生を迎える会 </td> <td>遠足</td> <td>運動会 6年生修学旅行</td> </tr> <tr> <td></td> <td> はまなす幼児センター 入園式 身体測定 誕生会 </td> <td> いも植え 遠足 交通安全教室 避難訓練 誕生会 </td> <td> 身体測定 避難訓練 動物園見学 交通安全教室 誕生会 </td> </tr> <tr> <td>教師間連携</td> <td> ■第1回全校参観日 【4/21(土)】 </td> <td> ■共和町幼小連絡会総会 【5/21(月)】 </td> <td> ■第1回幼小連携会議 (は・北)【6/14(木)】 ■第2回全校参観日 【6/29(金)】 </td> </tr> <tr> <td>幼児と児童</td> <td colspan="3"> ○はまなす北辰間の幼小連携会議の日程調整 ○入学1か月の児童の様子について </td> </tr> <tr> <td>保護者・地域</td> <td> 北辰小学校 □第1回全校参観日 【4/21(土)】 □1年生を迎える会 【4/26(木)】 </td> <td></td> <td> □運動会 【6/2(土)】 □第2回全校参観日 【6/29(金)】 </td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">【幼小連携 接続期プログラム（一部）】</p>	内容/月	4月	5月	6月	主な行事	北辰小学校 始業式 入学式 各種身体測定 1年生を迎える会	遠足	運動会 6年生修学旅行		はまなす幼児センター 入園式 身体測定 誕生会	いも植え 遠足 交通安全教室 避難訓練 誕生会	身体測定 避難訓練 動物園見学 交通安全教室 誕生会	教師間連携	■第1回全校参観日 【4/21(土)】	■共和町幼小連絡会総会 【5/21(月)】	■第1回幼小連携会議 (は・北)【6/14(木)】 ■第2回全校参観日 【6/29(金)】	幼児と児童	○はまなす北辰間の幼小連携会議の日程調整 ○入学1か月の児童の様子について			保護者・地域	北辰小学校 □第1回全校参観日 【4/21(土)】 □1年生を迎える会 【4/26(木)】		□運動会 【6/2(土)】 □第2回全校参観日 【6/29(金)】
内容/月	4月	5月	6月																						
主な行事	北辰小学校 始業式 入学式 各種身体測定 1年生を迎える会	遠足	運動会 6年生修学旅行																						
	はまなす幼児センター 入園式 身体測定 誕生会	いも植え 遠足 交通安全教室 避難訓練 誕生会	身体測定 避難訓練 動物園見学 交通安全教室 誕生会																						
教師間連携	■第1回全校参観日 【4/21(土)】	■共和町幼小連絡会総会 【5/21(月)】	■第1回幼小連携会議 (は・北)【6/14(木)】 ■第2回全校参観日 【6/29(金)】																						
幼児と児童	○はまなす北辰間の幼小連携会議の日程調整 ○入学1か月の児童の様子について																								
保護者・地域	北辰小学校 □第1回全校参観日 【4/21(土)】 □1年生を迎える会 【4/26(木)】		□運動会 【6/2(土)】 □第2回全校参観日 【6/29(金)】																						
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児教育では、生活や経験を重視した経験カリキュラムによる「遊び」とおして、「方向付け、発達の促し」を重視することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校では、教科カリキュラムによる学習が中心で、「目標へのゴール」を重視しているため、幼児センターと小学校のスタンスの違いについて、教員が互いに十分に認識し、今後の取組を発展させていく必要がある。 																								


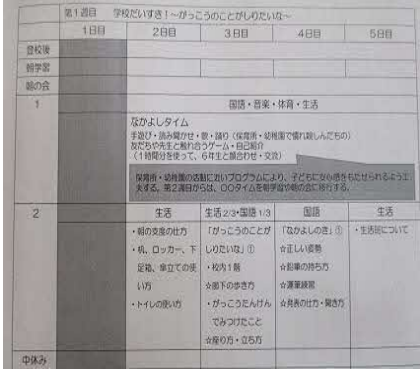
地域の実情に即した幼小連携・接続の取組について

管内・市町村	胆振管内 洞爺湖町
取組事項（テーマ）	幼保との引継ぎを生かしたスタートカリキュラムの取組
地域の実情と取組のねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1 複数の幼児教育施設から小学校に入学することから、学校の生活習慣に慣れさせるための時間を設定し、新入学児童が学校生活に戸惑いを感じないようにする。 2 小学校において、新入学児童が集団生活に円滑に移行できるよう、座学中心の学習よりも、遊びや体を使って運動する時間を多く設定し、友達との関わりを深め、集団生活に馴染めるようにする。 3 家庭環境により、幼児一人一人の平仮名の読み書きに大きな差があるため、小学校での教科の学習を始める前に、学習のきまりや、遊びを通して平仮名の読み書きに慣れる活動を取り入れる。
取組内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 引継ぎの工夫 <ol style="list-style-type: none"> ① 幼保小の引継ぎ内容の工夫 幼保小の円滑な引継ぎが行われるように、幼児教育施設が次のことを引継ぎ事項に明記し、小学校に確実に伝えるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・歌っていた歌、手遊び歌 ・よくしていた遊び ・取り組んでいた運動 ② 小学校生活への円滑な接続 毎週水曜日、保育所所長による朝の読み聞かせや、集団遊び（15分）を行っている。幼児の状況や入学前の様子などを随時交流することができる。 2 スタートカリキュラムの工夫 <ol style="list-style-type: none"> ① 総合単元名 「わくわく どきどき しょうがっこう1」（スタートカリキュラム1期）～ がっこうのせいかつに なれよう ～ ② 単元の主な学習活動 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校における生活や学習のきまり、集団生活のマナーなどを知り、楽しく安全に生活したり学習したりする。 ・平仮名のおよそを読む。 ・自分の名前や先生の名前を正しく書く。 ・みんなの前で自分の名前を言う。 ・友達や先生に、元気よく挨拶やお礼を言う。 ・15分間、集中して読み聞かせを聞いたり、学習に取り組んだりする。 ・60分程度の時間で、給食の準備から後始末までする。 ・トイレと水飲み場の使い方を知り、上手に使う。
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引継ぎやスタートカリキュラムを工夫したことにより、生活や学習のきまりに時間をかけて教えることができ、新入学児童が小学校生活に円滑に移行できた。 ・遊びを通して平仮名を指導したことにより、新入学児童が集中して平仮名を学ぶことができ、教科の学習に入りやすくなった。 ・読み聞かせや集団遊びにより、新入学児童が新たな友達関係を築き、学級としてのまとまりができた。




【保育所所長による読み聞かせ～エブロンシアター～】

地域の実情に即した幼小連携・接続の取組について

管内・市町村	日高管内 えりも町
取組事項（テーマ）	幼児教育施設と小学校の連携
地域の実情と取組のねらい	複数幼児教育施設が複数小学校に入学するため、町内全体で管理職交換を行うことで用意理解と小学校教育を共有することをねらいとする。
取組内容	<p>えりも町では、幼児教育と小学校教育の接続の充実を図る観点から、次のような取組を進めている。</p> <p>①管理職同士の協議の機会（年2回、幼稚園1園、保育所3所、小学校5校）</p> <p>②幼児教育研究会が主催する幼・小教職員対象の「幼児教育講演会」の開催（藤女子大学の吾田教授「幼児教育と小学校教育の接続」講演会）</p>  <p>【光の園幼稚園と中央保育所の幼児がえりも小授業参観】</p> <p>③スタートカリキュラムの作成（えりも小学校～がっこうだいすき、もっと知りたい）</p> <p>④幼児の小学校低学年との交流（授業参観、学校案内、遊び）</p> <p>⑤教育委員会の主導による町民生活課（保育所所管）、幼稚園（私立）との連携</p>  <p>【えりも小学校のスタートカリキュラム】</p>
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園長・保育所長と小学校校長との協議の場を設けることにより、理解が深まり接続の具体化に結び付いた。 終園・終所時期の1日入学に加えて、幼児の小学校訪問を定期的に行うことにより、園児が円滑に入学できる素地を養うことができた。 教職員と保育士が共に「接続」について学ぶことにより、互いの教育活動・保育活動に役立ち、幼児教育と小学校低学年教育の理解が深まった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児一人一人の特性を理解し資質・能力を育むために、協議や研修を深める機会を定期的に継続して設ける必要がある。

地域の実情に即した幼小連携・接続の取組について

管内・市町村	日高管内 新ひだか町
取組事項（テーマ）	町内幼稚園児による小学校の校舎・授業見学
地域の実情と取組のねらい	<p>小学校を事前に訪問することで、卒園に対する思いを高めるとともに、スムーズに小学校入学を行うことができるようにする。また、幼稚園の育ちと小学校の学びについて、教員同士が共通理解に立つことで、求められている子どもの成長を明確にし、実践に生かす。</p>
取組内容	<p><校舎・授業見学の日程></p> <p>10:15 幼稚園出発 10:25 小学校到着 10:30 訪問のごあいさつ 10:40 1年生の授業参観（10分程度、4グループに分かれて） 10:50 校舎見学 1年生教室、音楽室、図工室、理科室、図書室、家庭科室、 体育館、パソコン室、保健室、各学年教室など</p> <p>11:05 お礼のごあいさつ 11:10 小学校出発 11:15 幼稚園到着</p> <p><園児の様子についての意見交流会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席者 幼稚園：園長、主任、担当教諭 小学校：教頭、教務主任、低学年担当教諭 ・小学校生活がスムーズに行えるために、小学校での様子、幼稚園での様子を交流する。 <p><交流内容></p> <p>授業の受け方、あいさつ、教室や建物の違い（2階以上があること、体育館など）、トイレ（和式・洋式）、給食、食べる時間、廊下の歩き方、保健室の使い方など</p>  <p style="text-align: right;">【交流の場面の様子】</p>
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校入学までに育てるべき資質・能力を明確にし、卒園までの時間にすべきことが明確になった。 ・困り感のある児童に対する、指導方法や対応について、共通理解に立つことができた。 ・卒園・入学児童のケース会議で出されている児童についての認識を深めることができるとともに、それ以外の児童の実態を把握し、小学校入学以降の指導に生かすことができる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「幼児期の終わりまでに育ててほしい姿」と育成を目指す資質・能力について定期的な協議や研修を深める機会を設ける必要がある。

地域の実情に即した幼小連携・接続の取組について

管内・市町村	日高管内 新冠町
取組事項（テーマ）	学校行事への参加
地域の実情と取組のねらい	年長組園児がスムーズに小学校生活になじむことができるよう、小学校の学校行事に参加する。
取組内容	<p>新冠町立新冠小学校の第1学年が、毎年2月に生活科の学習で実施する「わくわく祭り」に、年長組の園児が参加し、買い物ごっこなどをおして小学生との交流を行っている。</p> <p>＜わくわく祭りの内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館で2時間交流する時間を設定 ・買い物ごっこ、輪投げ、段ボール迷路及びまとあてなど、園児が楽しく活動することができる内容 ・手作りのプレゼントを渡し、「4月の入学を楽しみに待っているよ」というメッセージの伝達 <p>＜園児の反応＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生の丁寧な対応に対して、「小学生のお兄さん、お姉さんと交流ができ、小学校は楽しかった」と園児が話しており、園児は楽しく活動することができた。 ・小学校入学に向け、園児の気持ちが高まる貴重な体験をする機会となった。
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の学校行事に参加することで、小学生の生活や小学生の様子について知ることができ、入学に向けた期待や見通しをもつことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育と小学校の学校教育で育成を目指す資質・能力について共通理解を図り、それぞれの発達の段階における支援の在り方に理解を深める必要がある。



【買い物ごっこの様子】



【輪投げの様子】